

母校の施設整備〜見和キャンパス開設50年施設整備事業より〜

1. 体育館の建て替え

既存の体育館は、1972年に竣工し、今年で45年目を迎えています。2011年3月の東日本大震災では大きな被害を受け、復旧工事が行われて使用できる状態にはなりませんが、耐震対応が必要なこと、また、折りしも、昨年は短期大学が開学50周年を迎え、短期大学開学初期に建築された建物は経年劣化も進んでおり、施設整備事業の一環として建て替えることとなりました。

体育館は、体育の正課授業や各運動部の活動の場として利用され、入学式・卒業式などでも親しまれてきました。また、学園祭ではアーティストによるコンサートも体育館にて開催され、本学の伝説としてMr.Childrenが「Innocent world」の曲が大ヒットした頃に、学園祭でコンサ

トをしたことがよく挙げられます。既存の体育館はこのような伝説もあるので名残惜しいところもあります。新体育館は、M棟南側の駐車場に建設しており、各種室内スポーツの設備に加え多目的室・トレーニング室なども併設し、電動で設置・収納できる476席を含め計612席の客席も整備されます。在学生、父母、卒業生が集える場として、また災害時の地域住民の避難所としての機能を担うことも期待されています。

また、今年度総会において承認された、2016年度同窓会予算では、



新体育館完成予想図

◆募金のご案内◆
http://www.tokiwa.ac.jp/fund/
常磐大学 会計経理課寄付係
(TEL: 029-232-2554)

2016年10月3日に、学生の自主的な学修活動（ピア・ラーニング、相互の協働による学修など）を支援するための施設として、F棟1階にラーニング・commons（TECCO（ティレコ）が開設されました。施設内には、オープンエリア、ミーティング室、講義室および面談室が配置されています。貸出用のプロジェクターやノートPCが用意されており、グループによる学修活動やプレゼンテーションの練習にも活用できるスペースとなっています。また、受付カウンターには、日頃から学生の自主的な学修を支援

2016年度同窓会では、2011年度に常磐大学同窓会課外活動奨励金制度を創設しました。この制度は、学生の課外活動の活性化と同窓会活動に対する認知度や理解度の向上を目的として、常磐大学の発展および社会貢献に寄与できる、またはそれが期待できる学生の課外活動に対して奨励金を給付するものです。

2016年度は次の3団体にに対し、奨励金（学生プロジェクト奨励金）を給付することが決定しました。8月2日に奨励金授与式が行われ、池田正則会長から給付団体の代表学生に奨励金が授与されました。

なお、2017年度同窓会総会後に今回の給付団体の学生たちによる活動内容および成果に関する報告会を開催します。



課外活動奨励金授与式

団体名	活動成果の内容	給付金額
エムフォー M4	ひたちなか市那珂珂地区で毎年8月に開催されるアートイベント「みなとメディアミュージアム」において、企画立案や、アーティストの制作サポート・開催中の作品管理・来客対応などの運営サポートを行なう。毎年30名近くの学生がボランティアスタッフとして参加している。また、同地区で毎月第3土曜日に開催される「ドーナツマーケット」での「TOKIWAまちなかラボ」プロジェクトでワークショップを実施する。	200,000円
ホテル再生プロジェクト in「常磐の森」	当プロジェクトは、ホテル再生を通じて借楽園公園内の自然環境の保全を図ろうとするものです。ネットワークに所属するほかの4団体、近隣の教育機関、水戸市役所、茨城県庁の関連部署や協賛企業と連携しながら、借楽園公園内の5か所でホテルの再生活動を実践しています。そして、12月には東京ビッグサイトで開催される「エコプロ2016」でその成果を発表する予定です。	198,894円
ティーエスエス TSS ボランティアトリコロール TRICOLOR	「いわき（岩手×常磐）プロジェクト」として、東日本大震災の被災地である岩手県沿岸部の課題解決に向け、「できることを、できるときに、出来るだけ」をテーマに活動している。本年度も岩手県の現状をより深く理解するための「勉強会」を実施し、9月には現地でのボランティア、震災を風化させないため、10月のときわ祭において、写真展示等をはじめとして「復興支援企画」の実施、12月には本学学生・教職員、地域の方を対象に「東日本大震災復興フォーラム」の開催を予定している。本活動は、継続したボランティア活動として次年度以降も行う予定である。	200,000円

常磐大学 看護学部看護学科（仮称）設置構想中

2018年4月、常磐大学に看護学部（仮称）を設置する計画を構想中です。

茨城県は医師不足、看護師不足が深刻であると聞きますので、地域医療の将来を担う人材の育成は急務の課題と思われま

す。看護の専門知識や技術の修得だけでなく、常磐大学がずっと大切にしてきた「人間教育」「実学教育」の実績を踏まえて、コミュニケーション力や問題解決力を有した人材が養成されることに期待したいと思

【看護学部看護学科（仮称）の概要】

開設時期	2018年4月
定員	入学定員：80名 収容定員：320名
場所	見和キャンパス（水戸市見和1-430-1） 桜の郷キャンパス（東茨城郡茨城町桜の郷280）*水戸医療センター隣接
取得資格（申請予定）	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格（選抜制） 養護教諭一種免許（選抜制）



- ① 授業時間外の学修（個人またはグループ）
- ② 学生と教職員の面談、学修相談
- ③ 学生を対象とした学修スキル向上のためのセミナー、ワークショップ

常磐大学同窓会 支部活動レポート TOKIWAおんぶの会

TOKIWAおんぶの会では、来る2017年11月18日（土）、日立シビックセンターにおいて、3年ぶりに演奏会を開催します。学生時代の仲間たちと、「同窓会による演奏会」を行いたい！ということで2004年に始まった『同奏会』も、早いもので5回目の開催となります！学生時代に吹奏楽団で活動していた方は、お誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください！そして、常磐大学同窓会のみなさまのご来場を心よりお待ちしております。

【お問い合わせ】事務局：090-1662-3486（長南）

- ④ 授業におけるグループ学修（定期的な利用は除く）
- ⑤ 教職員を対象とした（FDまたはSDのための）セミナー、ワークショップ

2016年度

体育会&文化連合活動報告

硬式野球部

○関甲新学生野球秋季リーグ(3部中2部)

- 常磐大学× 3-4 ○松本大学
- 常磐大学○ 6-0 ×松本大学
- 常磐大学○ 3-0 ×埼玉大学
- 常磐大学○ 11-0 ×茨城大学
- 常磐大学× 1-4 ○茨城大学
- 常磐大学○ 4-2 ×群馬大学
- 常磐大学○ 9-0 ×群馬大学
- 常磐大学○ 7-0 ×山梨学院大学
- 常磐大学○ 6-12 ×山梨学院大学
- 常磐大学○ 6-11 ×埼玉大学
- ※8勝2敗 1位 2部残留

バドミントン部

〈男子〉

○2016年度関東大学バドミントン春季リーグ戦6部C

5戦0勝5敗 6位

〈女子〉

○2016年度関東大学バドミントン春季リーグ戦5部B

- 5戦5勝0敗 1位 入れ替え戦へ
- 2016年度関東大学バドミントン春季リーグ戦入れ替え戦
- 常磐大学○ 3-2 ×首都大学東京
- 4部昇格

○2016年度関東大学バドミントン秋季リーグ戦4部A

5戦2勝3敗 4位

剣道部

○第65回関東学生剣道優勝大会

(男子団体) 1回戦

常磐大学× 0-7 ○慶應義塾大学

○第42回関東女子学生剣道優勝大会

(女子団体) 1回戦

常磐大学× 2-3 ○桜美林大学

○第62回関東学生剣道新人戦大会

(男子団体) 1回戦

常磐大学× 1-3 ○白鷲大学

○第17回関東学生剣道新人戦大会

(女子団体) 1回戦

常磐大学○ 2-0 ×茨城大学

2回戦

常磐大学× 0-4 ○日本体育大学

○第11回全日本学生剣道オープン大会

〈男子〉二段以下の部

準優勝 木村 健宏

〈男子〉三段以上の部

決勝トーナメント2回戦進出

予選リーグ敗退 小沼 翔太

予選リーグ敗退 横須賀 匠、海野 涼介

神永 鉄平、川崎 健希

志村 美咲

岩淵 小麦、菅谷 優

サッカー部

○北関東大学選手権(総理大臣杯予選)

第1回戦

常磐大学○ 3-1 ×宇都宮大学

第2回戦

常磐大学× 0-2 ○上武大学

○北関東大学サッカーリーグ(期)

常磐大学× 0-2 ○上武大学

常磐大学× 2-15 ○関東学園大学

常磐大学× 1-2 ○作新学院大学

常磐大学△ 1-1 △宇都宮大学

常磐大学× 0-1 ○高崎経済大学

常磐大学○ 1-0 ×群馬大学

常磐大学△ 2-2 △足利工業大学

常磐大学△ 1-1 △白鷲大学

常磐大学△ 2-2 △茨城大学

1勝4敗4引き分け

吹奏楽団

○第56回茨城県吹奏楽コンクール

(大学の部)

金賞・県代表

○第22回関東吹奏楽コンクール

(大学の部)

銅賞

法律と美術

常磐大学同窓会のみなさん、お元気でお過ごしでしょうか。私が人間科学部に着任したのは1990年4月ですから、早いものでかれこれ30年近く経ちます。ゼミ1期生の方はもう40代半ばになっておられるかと思えます。

本学に赴任する前の約2年間、私はドイツ西部のザールブリュッケンという都市にあるザールラント大学の法経学部で助手を務めていました。助手といっても、仕事は指導教授の求めに応じて日本の法律論文などをドイツ語に翻訳するくらいのものでした。あとの時間は自分の研究にあて、勉強に倦むと、気分転換に研究室の秘書さんや助手たちとおしゃべりしたり、ワインを飲んだりして(ときには朝ま

日向野 弘毅

で?) 過ごしていました。

ザールブリュッケンはドイツ有数のワイン産地であるモーゼル地域にほど近いので、おいしいワインが手軽に楽しめます。助手仲間の一人(現在は裁判官)がたまたまワイン農家の息子だったので、誘われるままに泊りがけで遊びに行き、ワインをしましまご馳走になったのも懐かしい思い出です。

助手は州の公務員なので、土日の休みを利用してドイツ各地を旅行しました。行く先々では必ず美術館を訪れるようにしていました。どこも入館料が安く、とにかく空いているのでとても快適でした。平日は、もっぱら「建築家の民事責任」というテーマで研究をしており、指導教授(後に学長に就任)ともよく議論しました。あるとき意見が合わず、つい口が

滑つて、「先生もシユタインコップ(石頭)ですね」と言ってしまう真つ青になりましたが、先生はニヤツと笑って、「ドイツではそういうとき、ホルツコップ(木頭)と言ふんだよ」とユーモアで返してくれたので、ほとと胸をなでおろした覚えがあります。

帰国してから、ドイツでの研究成果をまとめて発表しましたが、その後、私の関心は、民法から著作権法に広がり、建築の著作物に関する研究を始めます。建築が著作権で保護されるためには美術性を備えている必要があるのですが、そもそも美術性とは何か、一体誰が美術性の有無を判断するのか、という点が問題となります。美術性の有無の判断者について、ドイツ連邦通商裁(我が国の最高裁に相当)は、「美術に造詣の深い素人」、つまり、美術に造詣が深ければ誰でも(裁判官でも)かまわないが、美術の専門家ではダメだといっています。こ

の判例に勇気づけられて(?)、私なりに美術性について考え、何とかまとめあげたのが「建築家の著作権」という書物です。その際に知らず知らずのうちに役に立ったのが、ドイツ滞在時の美術鑑賞経験であるような気がします。法律と美術というとまったく関係がなさそうにみえますが、思わぬところでクロスしたわけです。

ドイツはその後またたび訪れ、かつの恩師や仲間たちと旧交をあためていますが、その際には必ずオーストリアまで足を伸ばし、ウィーンの美術史美術館に立ち寄りします。言うまでもなく世界有数の美術館ですが、ブリューゲルの作品群など見応えのある絵画がたくさんあります。最近あまり時間の余裕がなく、国内の美術館すらなかなか見ませんが、老後は世界中の美術館を見て回りたいと思っています。

おくやみ

謹んでお悔やみ申し上げます。

柄澤 行雄様

(元人間科学部教授)

鈴木 康平様

(元人間科学部教授)

濱田 敏郎様

(元人間科学部教授)

異動情報の更新にご協力ください

ご住所やご氏名の変更等により、本会からの郵便物が返送されるケースが増えております。ご住所やご氏名に変更がありましたら、左記までご連絡ください。

*同窓会のホームページからも受け付けております。

http://www.tokiwa.ac.jp/~dosokai
 メール: dosokai@tokiwa.ac.jp
 Fax: 029-231-9078
 郵送: 〒310-8585 水戸市見和1-430-1
 常磐大学内常磐大学同窓会事務局宛

掲載文募集

同窓会事務局では、会報「とさわの風」に掲載する会員の皆さまからの投稿を募集しています。日々の雑感・近況報告などをお寄せください。(編集の都合上

800字程度でお願いします。) なお、掲載された方には、薄謝進呈いたします。[送付先] 〒310-8585 常磐大学同窓会事務局または、dosokai@tokiwa.ac.jp

編集後記

2017年が始まりました。母校の常磐大学では、国際学部とコミュニケーション学部が改組転換して、2017年4月から総合政策学部がスタートします。また、今回の会報にも記載しましたが、看護学部設置を構想中であり、大きな転換期を迎えています。「新しい風」に期待しています。

なお、例年開催している常磐大学同窓会総会の日程については、決定しましたら別途ご連絡いたします。懐かしい先生に会ったり、新しい体育館を見に来ませんか。事務局としてお待ちしております。

(M)